

## 【審査への対応状況】

- ✓ 当社は、安全確保を大前提とした泊発電所の早期再稼働に向け、原子力規制委員会（以下、規制委員会）による審査に真摯に対応しています。現在、「発電所敷地内断層の活動性評価」を最優先課題に位置付け、残る課題の「積丹半島北西沖に仮定した活断層による地震動評価」「地震による防潮堤地盤の液状化の影響評価」「津波により防波堤が損傷した場合の発電所設備への影響評価」などについても対応を進めています。各課題への対応状況は以下のとおりです。

## 【今後の対応】

- ✓ 当社は、電気料金値下げによるお客さまのご負担軽減、さらには電力の安定供給のために、早期再稼働を実現できるよう、今後も変わらず、新規制基準適合性審査対応に総力をあげて取り組んでまいります。
- ✓ また、審査の状況や泊発電所の必要性などについてご理解いただけるよう、地域の皆さまとの対話やホームページや広報誌などさまざまな媒体を通じて、丁寧かつ分かりやすい情報発信に努めてまいります。

## 発電所敷地内断層の活動性評価

## 【課題】

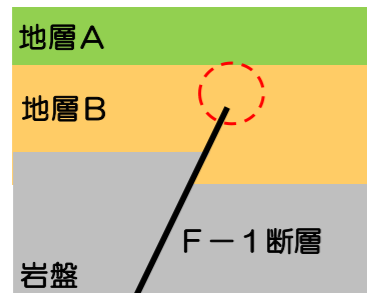
- 発電所敷地内の断層の活動性評価について、発電所敷地内に認められる断層\*1は、将来活動する可能性のある断層等\*2（活断層）ではないことを説明する。

## 【規制委員会コメント】

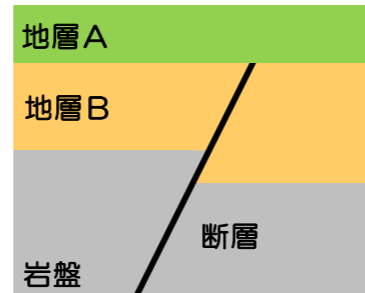
- F-1断層開削調査箇所\*3における現有の調査データでは、F-1断層の活動性を否定できない。

## 【今後の対応】

- F-1断層の活動性評価については、F-1断層開削調査箇所が発電所の造成に伴う改変により既に消失していることから、今後、近傍の原地形が残存している箇所において、新たに追加の調査を実施し、得られたデータに基づいて詳細な検討を行う。
- 今後、できるだけ早く検討結果を取りまとめ、F-1断層は活断層ではないことについて、審査会合などで説明していく。



(図a) F-1断層開削調査箇所のイメージ  
(現有の調査データ)



(図b) 地層Aが上載地層に使用できるイメージ

## 【規制委員会の主なコメント】（2019年2月審査会合）

F-1断層開削調査箇所における現有の調査データ（図a）は、図bのように、断層の変位が地層Aの底面まで及んでいないことから、地層Aは上載地層法\*4における上載地層には使用できない。したがって、F-1断層の活動性を否定できない。

## 【今後の対応】（2019年4月審査会合）

F-1断層開削調査箇所近傍の原地形が残存している箇所において、新たに追加の調査を実施し、得られたデータに基づいて詳細な検討を行い、F-1断層は活断層ではないことを説明する。

- ※1 発電所敷地内に認められる11条の断層（F-1断層～F-11断層）のこと。
- ※2 新規制基準において、安全上重要な施設は、将来活動する可能性のある断層等（約12万～13万年前以降の活動が否定できないもの）がない地盤に設置することが求められている。
- ※3 建設当時の調査箇所であり、発電所の造成に伴う改変により消失している。
- ※4 断層を覆う地層（上載地層）の年代を特定することで、断層の活動時期を判断する方法。

## 積丹半島北西沖に仮定した活断層による地震動評価

## 【課題】

- 積丹半島西岸の海岸地形について、各調査・検討を実施してきたが、泊発電所の安全性をより一層高める観点から、積丹半島北西沖に活断層を仮定することとしており、その地震動評価について説明する。

## 【規制委員会コメント】

- 地震動評価における断層の方向などについて、より安全側の評価となるように検討すること。

## 【今後の対応】

- 仮定した活断層による地震動について、審査会合などで説明していく。



活断層の仮定位置

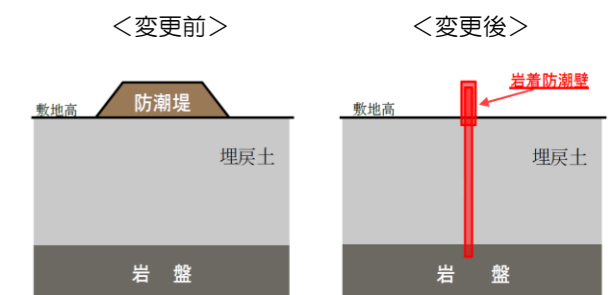
## 地震による防潮堤地盤の液状化の影響評価

## 【課題】

- 地震による地盤の液状化評価について、追加の地質調査結果の分析・評価、液状化による被害事例に関する文献整理などを実施し、説明する。
- 泊発電所の安全性をより一層高める観点から、岩着支持構造（堅固な岩盤の上に構造物を支持させる形式）による防潮壁に設計変更し、地震・津波に対する健全性の評価を説明する。

## 【今後の対応】

- 設計変更について検討を進め、変更した仕様による地震・津波に対する健全性の評価について、審査会合などで説明していく。



設計変更の概要（詳細は検討中）

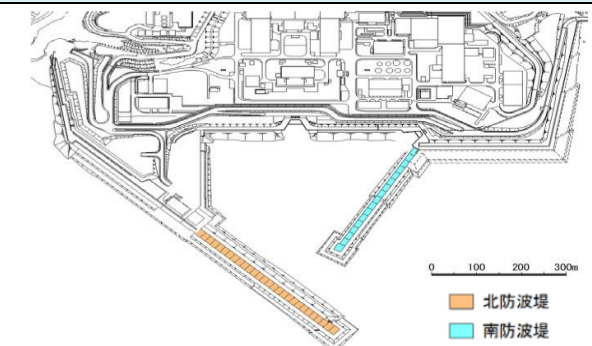
## 津波により防波堤が損傷した場合の発電所設備への影響評価

## 【課題】

- 津波により防波堤が損傷した場合の発電所設備への影響について、説明する。

## 【今後の対応】

- 防波堤の移動や沈下に関する解析や水理模型実験の結果を用いて審査会合などで説明していく。



泊発電所防波堤配置図